

Creative Application A17

メディア実装2

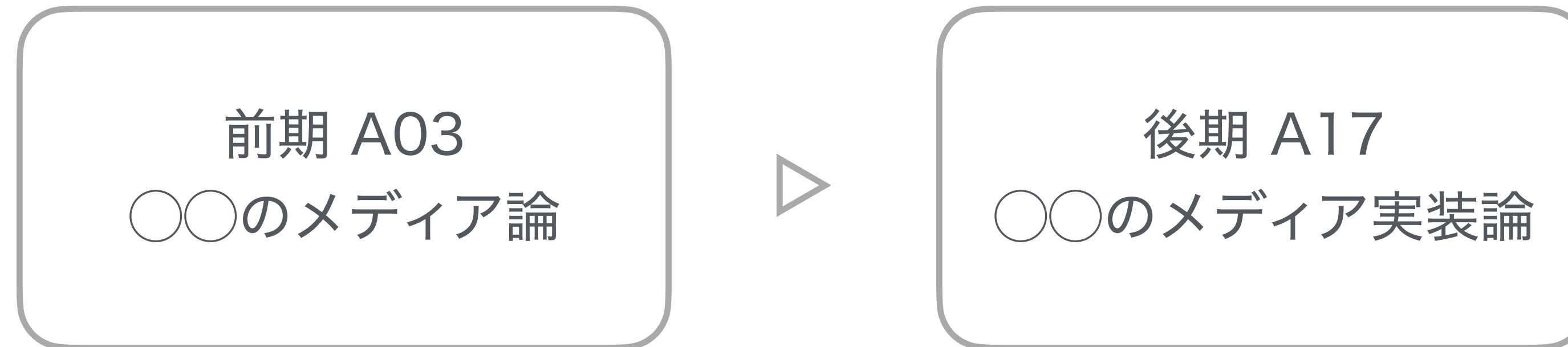
「メッセージング」 主客を交差させる

2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます, 答えのない議論があります
- ・ 前半で1テーマの紹介, 後半でテーマを深める議論を行います
- ・ 前期と後期がリンクしています. 予習復習の参考にしてください



本日のテーマ

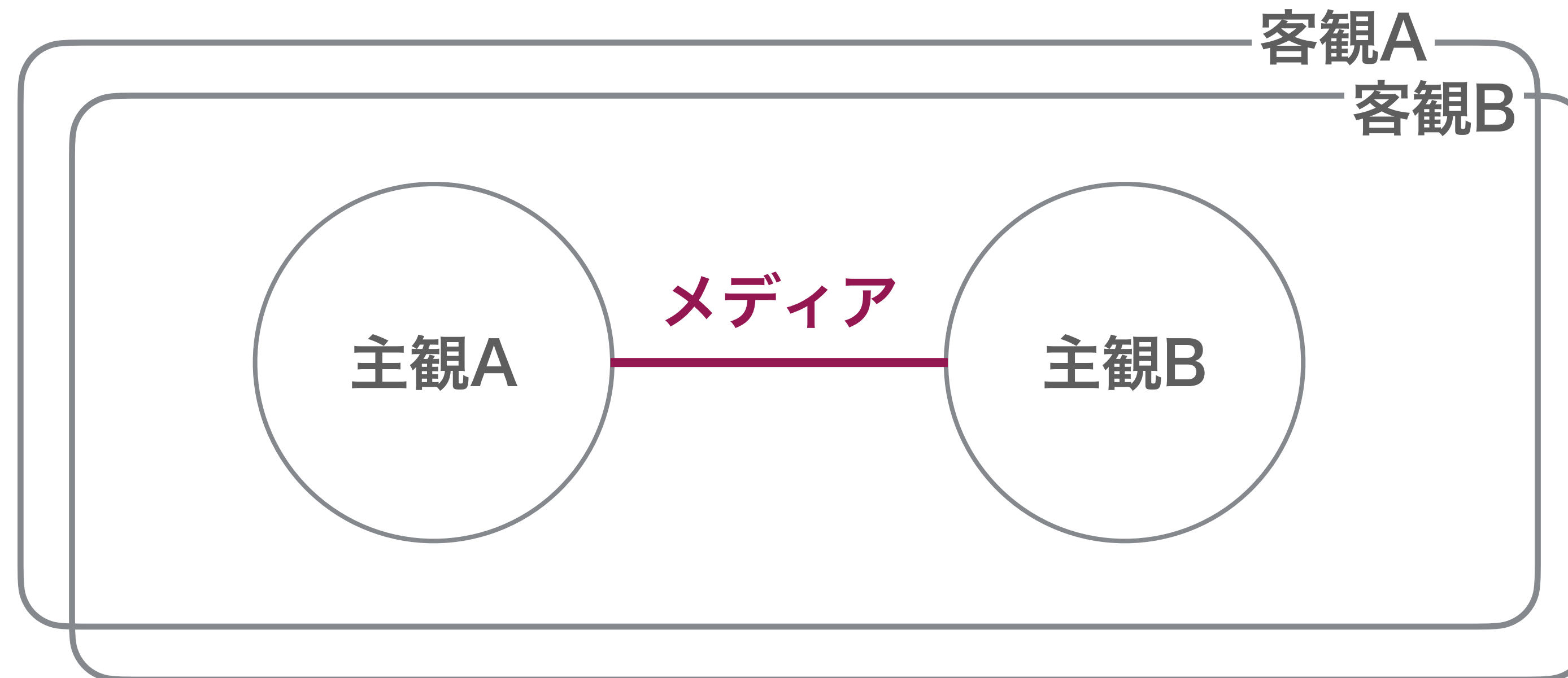
- ▶ **自分と他者の思考の行き交い, そして相乗効果**

前期概要

- ▶ 個人の思考は大切だが、一方、他者間の疎通の難しさが生まれた
- ▶ 主観と客観の分離
- ▶ 個・社会・世界の分離
- ▶ ものごとを思考を伝えうる状態に変える → メディア化
- ▶ メディア化したものごとで個を社会へとつなぐ

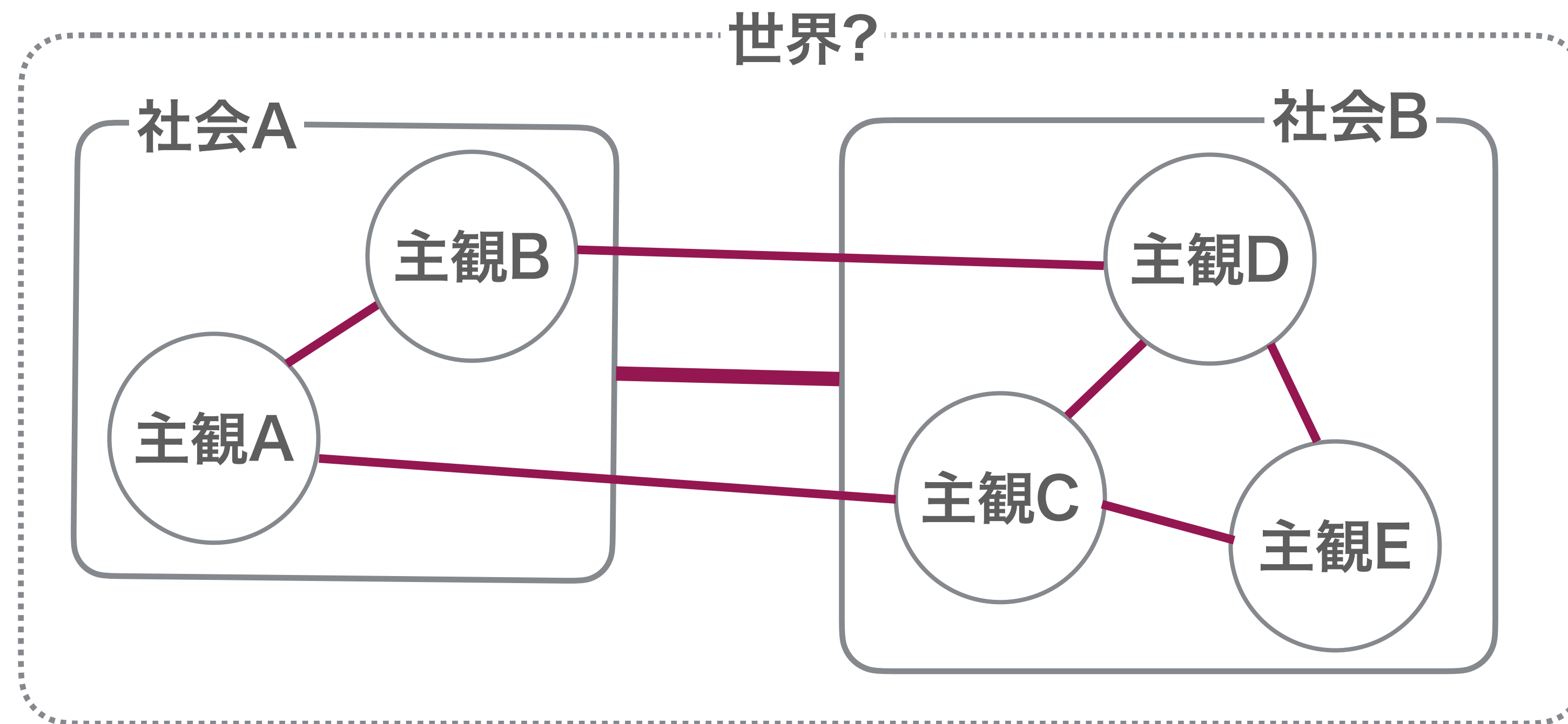
(再掲) 主観と客観

- ▶ 個の強化と主客の分離
 - ▶ **主観** - 個人のものもの見方・個人の思考領域
 - ▶ **客観** - 主観以外の領域



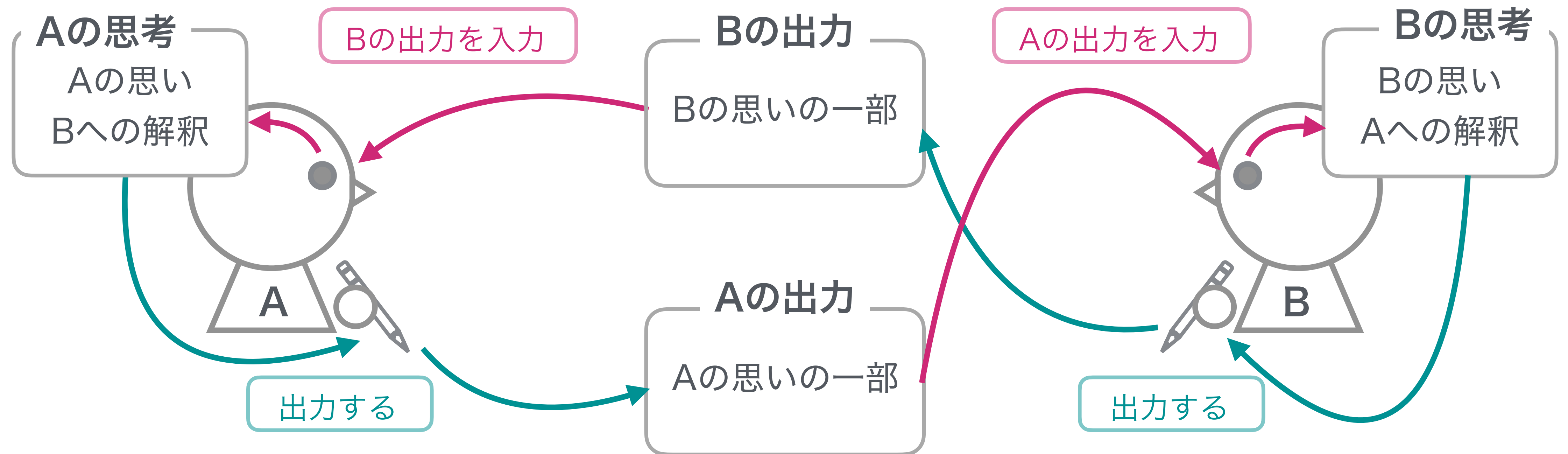
(再掲) 個・社会・世界

- ▶ 個・社会・世界の分離
- ▶ 個のアウトプットをメディア化して社会につなぐには？



メッセージングによる交流形成

- ▶ 主観A-主観Bの2者間で、**出力(ノートやトーク)**を見せ合いつながらる
- ▶ 両者の思考に、お互いの出力を通して得た解釈が加わる



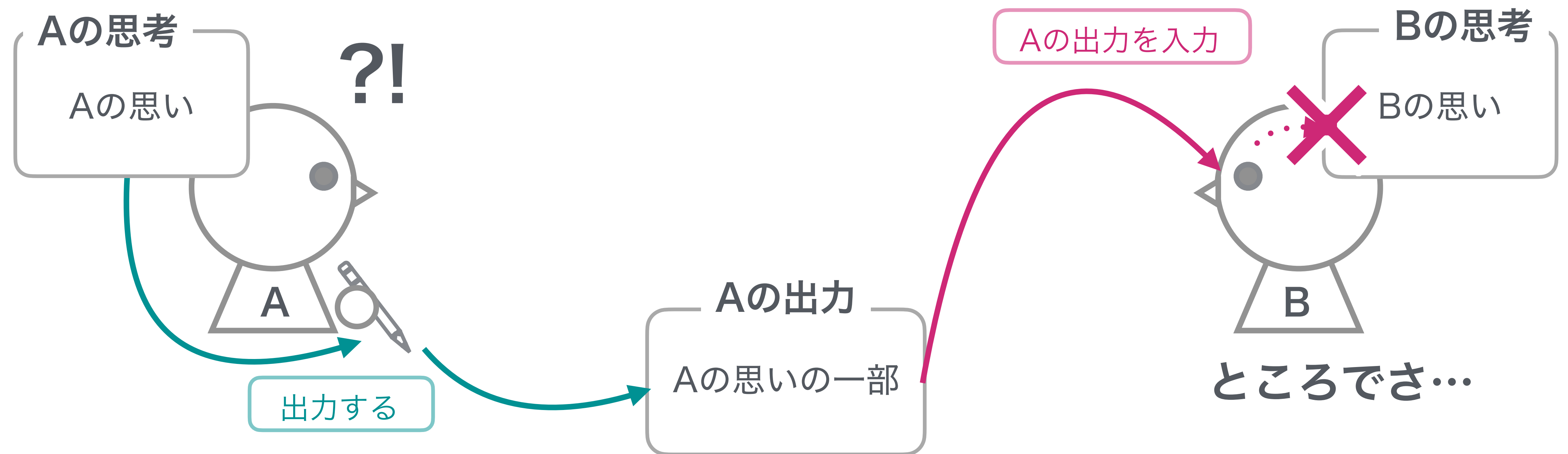
伝達1 わかりづらい表現

- ▶ Aが, Bに理解しづらい出力をしている
- ▶ **Bに伝わりやすい出力を工夫する** (伝え直す, 方法を変えるなど)



伝達2 頭にはいらない

- ▶ Aの出力はBに理解できるが、BがAへの解釈をしない
- ▶ **BはAの出力を頭に入れる**(Aの話聞く・ノートを読む)



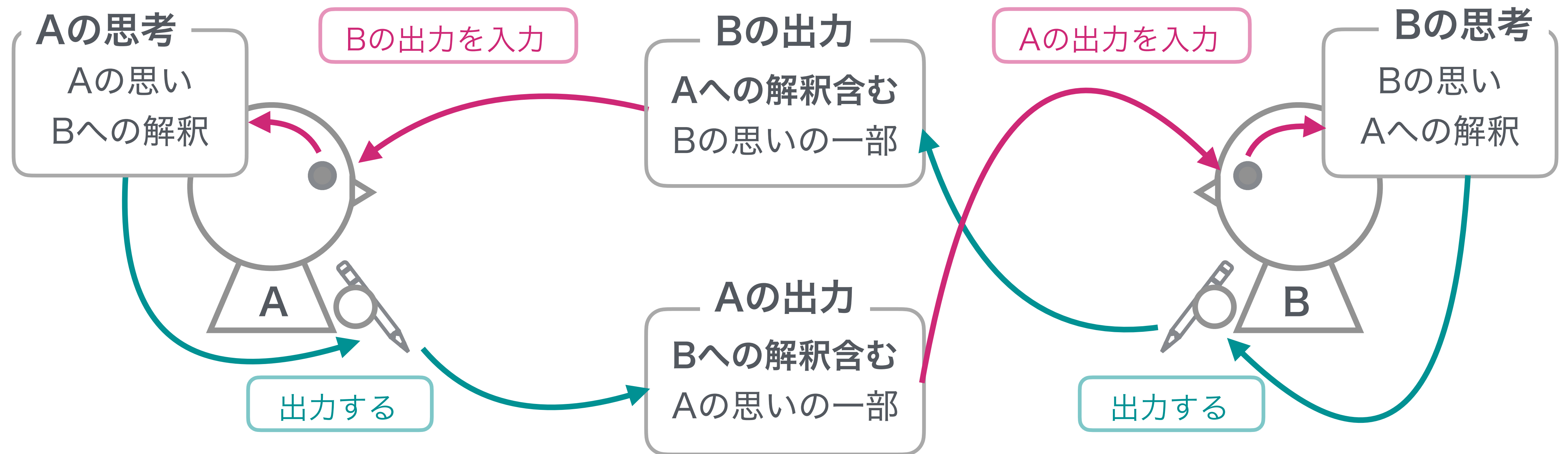
伝達3 解釈のズレが大きい

- ▶ Aへの解釈が, Aの思いとおおきくズれる (※必ずズれるのは大前提)
- ▶ **大きなズレでも容れる & ズレを減らすため繰り返し伝えあう**



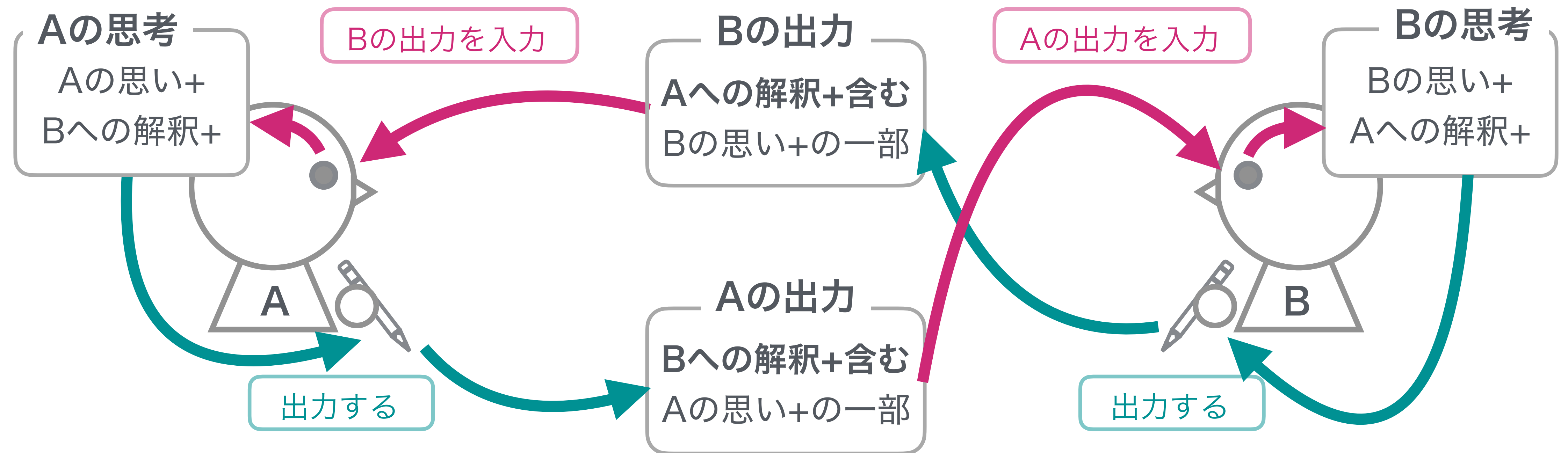
伝達4 ラリー

- メッセージングにはいくつかの阻害ポイントがある
- 互いの解釈を含めた**入出力のラリー**をするのが肝要



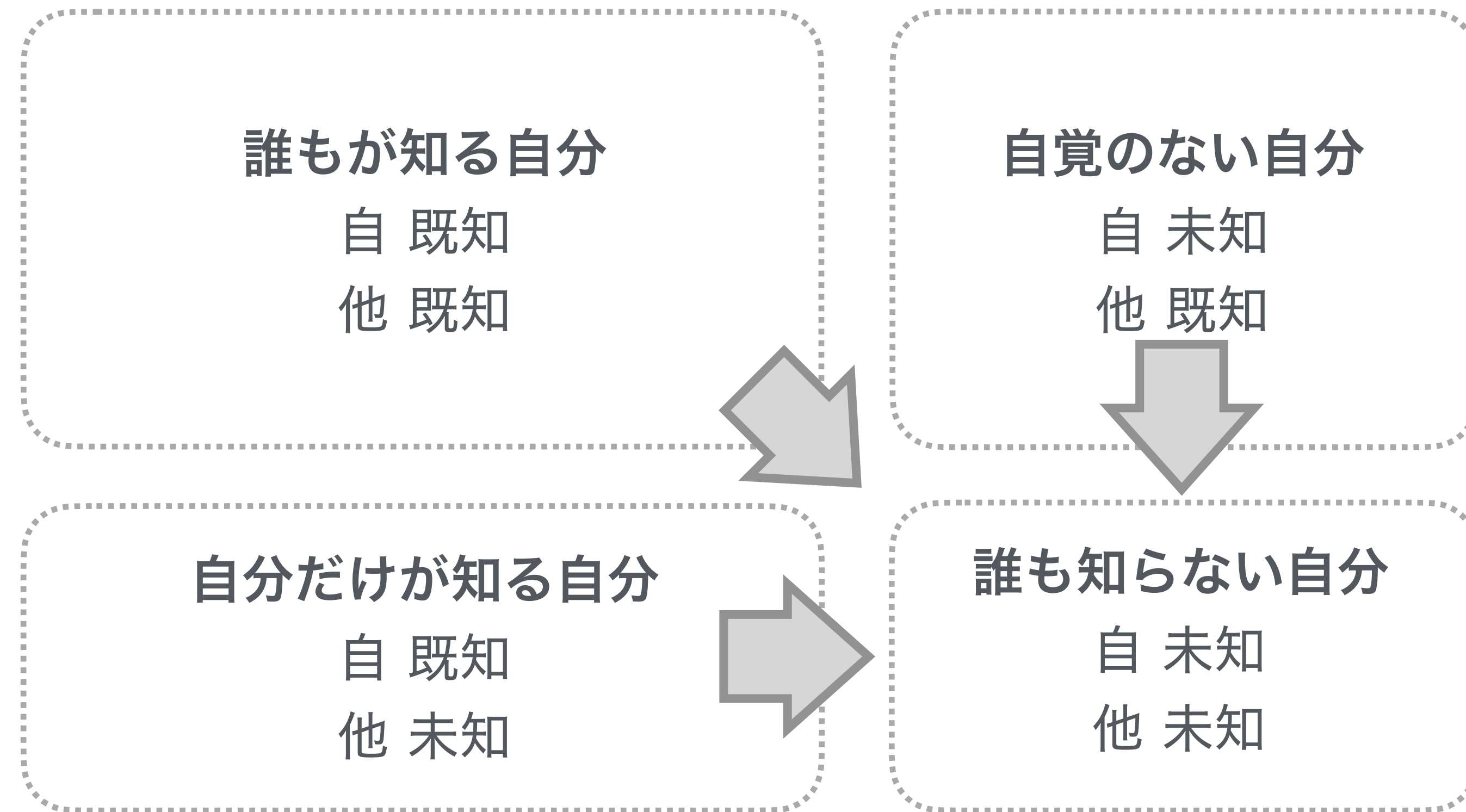
伝達5 相互解釈の更新・メディア化

- ▶ ラリーで相互の解釈と意思も更新, 伝わりやすさが増す → メディア化促進
- ▶ **相互解釈を通すと, 自分の思考も磨かれる, 理解も進む**



自他が知る自分を共有する

- ▶ 他者視点を得られることで、自分の見通しも全体的によくになる



まとめ

- ▶ 個人の思考が発展するとともに主客分離が進んだ
- ▶ 個人間の交流の重要性は増し、メディア化の要求が高まった
- ▶ メッセージング
 - ▶ 主観同士をつなぐためのお互いの出力と入力の工夫
 - ▶ 相手への伝わりやすさを工夫する & 相手の話を聞く
 - ▶ つながりがなめらかに → メディア化の促進
 - ▶ 他者が持つ自分のことも知ることができ、見通しがよくなる

本日の議論・考察一助

- a. メッセージングを形成するに、まず困難なところはどこだろうか
- b. 出力と解釈は必ずズレる。ズレを容認するためのポイントは何か
- c. **具体的にどのようなメッセージングを行うかの議論**

次回予定

メディア実装3

「コミュニティ」 伝達と交流を促進させる

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004